

データ駆動科学基礎とPythonによる実践

データ解析に適用するベイズ推定、スパースモデリングについて理解することができる！

1名分料金で
2人目無料【LIVE配信】【アーカイブ配信】セミナーURLはこちら→<https://www.rdsc.co.jp/seminar/251066>

- ◆日時: 2025年10月21日(火) 10:30~16:30
- ◆アーカイブ配信: 10/22(水)~11/5(水) 何度でも受講可能
- ◆受講料: 1名につき55,000円(税込、資料付)

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で55,000円(税込)から
・1名で申込の場合、**49,500円(税込)**へ割引になります。
・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計55,000円(2人目無料)**です。

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】

熊本大学 産業ナノマテリアル研究所
教授 博士(理学) 赤井 一郎氏

【講演の趣旨】 様々なビッグデータを利活用して、従来の課題解決や新しい付加価値を生み出すデータ駆動型社会が実現しつつあり、データ駆動科学はその基盤である。またデータ駆動科学は、その言葉の通り、主役は「科学」する行為で、それを「データ駆動」で増強させる。つまり、データ科学を利活用して従来の課題を解決し、データを起点として科学技術の新展開を開くものである。

皆様は、普段行っている最小二乗法や誤差論を用いたデータ解析で満足されているであろうか？ 本セミナーは、様々な計測や解析に携わっている方々で、次の様な目的や悩みを持つ方に、データ駆動科学でそれらを解決する糸口を掴んでいただくことを目的とする。

- ・手元にあるデータから、情報の良い引き出し方がわからない。
- ・最小二乗法等の従来解析法に物足りなさを感じる。
- ・解析の精度評価を行いたい。
- ・データに含まれている様々な情報で、重要なものが何かを客観的に選びたい。
- ・データを骨の髄まで解析したい

【習得できる知識】

データ解析に適用するベイズ推定について理解できる。
データ解析に適用するスパースモデリングを理解できる。
ベイズ推定とスパースモデリングの使い方を理解できる。

【プログラム】

- はじめに
- 誤差論と最小二乗法の限界
- 確率で因果律を遡るベイズ推定
 - 3-1 因果律をベイズ推定で考える
 - 3-2 データ駆動科学におけるベイズ推定
 - 3-3 MCMC 法でパラメータ空間を探索
 - 3-4 データ駆動で解析モデルを選択
- スパースモデリングで重要成分の抽出
 - 4-1 説明変数を絞り込むLASSO 法
 - 4-2 スパースモデリングのための標準化
 - 4-3 公平さを保つ情報量規準
 - 4-4 予測誤差を最小化させる交差検証

『データ駆動科学』セミナー申込書 FAX:03-5857-4812 ※ご希望の参加形式にチェック下さい⇒< ☐LIVE / ☐アーカイブ >

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐Eメール ☐郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>